



2017年オープンキャンパスの様子【関連記事4ページ】

## 公認心理師制度の発足にあたって

心理学部長 中野 倫仁



2015年9月9日(水)に議員立法により成立した公認心理師法が、2017年9月15日(金)に施行されました。本学においても、2018年4月入学生から心理学部および大学院心理科学研究科において、公認心理師に適合した新カリキュラムを導入するため、準備を開始しています。また、医療系総合大学である特色を生かし、医療分野に強い臨床心理学教育を行ってきたため、カリキュラムの大幅な変更の必要はなく、円滑に移行できるものと考えています。ただ、実習施設が保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野にまたがり、実習時間が学部80時間以上、大学院270時間以上に設定されていることから、関係各位のご協力を得ながら、実習施設の開拓に努めているところでです。

公認心理師は、心理状態の観察、分析、相談、援助、教育、情報の提供などを行う専門職として、大学において心理系の教育を受けた後、大学院修士課程を修了するか、または2年以上の実務経験を経た者に受験資格が与えられます。心理系では初めての国家資格として、関係者が念願してきたものであり、今後の発展が期待できる専門職のひとつです。

現在、在籍している学生および大学院生に対しては、受験資格の特が用意されています。学生は大学を卒業後、大学院に進学し課程を修了した後、大学院生は課程を修了した後に、国家試験の受験が可能になります。また、2018年中には第1回の国家試験が行われることになっています。

従来養成してきた臨床心理士は、主としてスクールカウンセラーとして活躍する人が多かったのですが、公認心理師は実習において保健医療分野が必須となるなど、どちらかという医療分野を重視したものになっています。本学は、従来より臨床心理士養成大学院の中では医療分野に就職する修了生が多く、公認心理師制度を実体として先取りした教育となっていました。また、公認心理師法により要請されている保健医療、福祉、教育などの関係者との連携は、北海道医療大学の重要なテーマである多職種連携そのものであることから、公認心理師養成大学として、本学こそ正に相応しいと言えると思います。

本学としては、公認心理師の新カリキュラムの整備にとどまらず、医療系総合大学としての特色を生かして、医療系科目の一層の充実に努め、従来より実施してきた文系系系の枠を超えた文理融合教育を継承して、新時代の臨床心理学教育を実践していくこととなります。心理学部が2002年、心理科学研究科が2004年に発足し、多くの卒業生・修了生を社会に送り出してきました。現在の臨床心理学の教員18名のうち、5名がOB・OGとなっており、後継者も順調に育ってきています。臨床心理学教育は必ずしも公認心理師の養成のみを目的とするものではありませんが、新国家資格の発足を本学にとっての新たな一歩を進めるものとして歓迎したいと思います。

## CONTENTS

公認心理師制度の発足にあたって	1
新任教員・昇任教員紹介	2
2018年春、臨床心理学科では、「公認心理師」の国家資格取得に対応したカリキュラムをいち早くスタートします！ 小学生を対象とした夏休みイベントを開催しました 学内合同就職相談会を開催しました	
短期研修レポート	3
アルバータ大学(カナダ)語学研修レポート	
OPEN CAMPUS 2017 開催報告	4
ものづくり学校祭2017 参加レポート	5
2018年度入試結果速報	6
札幌丘珠高等学校との高大連携授業を実施	
地区別懇談会を開催	7
後援会東北支部セミナーを開催 第22回日本在宅ケア学会学術集会が開催されました	
私の学生時代	8
OG訪問【言語聴覚療法学科】	9
STUDENTS' ACTIVITIES & EVENTS	10-11
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	